

久小だよ！

久田見小学校

令和2年8月17日



ひびきあい精神

校長 奥村雅人

短い期間でしたが、夏休みの図書の本を借りに来てくれた子が「時間の使い方を考えています。」と話してくれました。また、ある保護者の方は、「大人の姿で示せるようにがんばります。」と声をかけてくださいました。

短い夏休みでしたが『時間の使い方』を考え、健康で充実した日々を過ごせたのではないのでしょうか。今日から学校が始まりますが、気持ちを切り替えてがんばってほしいものです。

今年度は「ひびきあい精神」というキーワードを大切にスタートしました。コロナウイルス感染症防止のため、仲間に寄り沿った活動をしたり、元気な声をかけあったりすることが難しいです。しかしながら、よく考えれば仲間のための思った行動は、いろいろあるはずです。

7月に「ほかほか言葉キャンペーン」（右写真）を行いました。

「がんばってと声をかけることができた。」「字がじょうずだねと言えた。」「ありがとうと言えた。」「だいじょうぶと伝えた。」など、多くの子が自分なりにできる言葉かけを一生懸命行えました。目立った活動ができなくても、一人一人が『わたしのきもちあなたにとどきますように』という思いがあれば十分ではないでしょうか。



このキャンペーン期間の中で、『ほかほかはこころとこころのひびきあい』というフレーズがありました。今年度のキーワード「ひびきあい精神」に直接つながるのを感じました。

コロナウイルス感染症に関わって、『差別意識や偏見をもたないで、適切な行動をとりましょう』『差別や偏見のもととなる「不安」を解消するためにも、正しい情報（公的機関が提供する情報）を大切にしましょう』『悪い情報ばかりに目をむけないこと』『差別的な言動に同調しないこと』といったことが、さげばれています。このことも、お互いを大切にすることにつながります。日本中がそうですが、学校でも限られた中で「できること」「やれること」に取り組んでいこうと考えています。

【コロナウイルス感染症について、以下のことについてお願いします】

- ・登下校時に、熱中症予防及び適切な距離を保つために傘（日傘）を使用してください。
- ・お子さんが濃厚接触者（PCR検査の対象）となった場合、2週間前までの行動をお尋ねします。普段から日々の行動をメモなどで記録しておいてください。